

History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

No.1

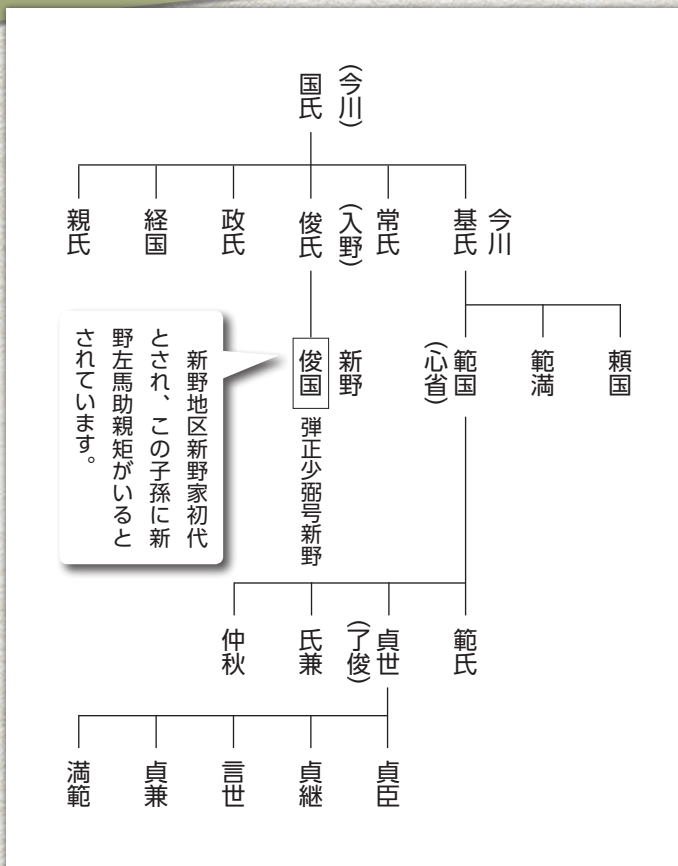
今川家と新野家のつながり

「新野」という地名について調べてみると、平安時代に編さんされた「和名類聚抄」に当時の郡名・村名が記されています。その中には「城飼郡新野(尔比乃)」とあり、新野地区は早くから村として成立していたことがわかります。

新野地区は、鎌倉時代から戦国時代まで一貫して新野氏の領地であったと考えられますが、鎌倉末期から南北朝前期のころ、鎌倉御家人であった新野氏が衰退し、「今川系新野氏」にとって代わられます。この今川系新野氏が、新野左馬助親矩の原点です。

今川系新野氏は、系図のとおり今川家初代国氏の孫の俊国に始まり新野を領していました。15世紀に記された「満濟准后日記」や「今川記」にも「今川新野」として登場しています。新野左馬助親矩が討ち死にしたころ、新野地区は新野一族が守っていましたが、武田氏の侵攻後は小田原の北条氏のところへ逃れたと伝えられています。

照会 社会教育課 ☎0548⑥1129



▲今川・新野関係系図
(岳南史、今川了俊、尊卑文脈、東鑑、新野左馬助系図より)

新野地区新野家初代とされ、この子孫に新野左馬助親矩がいるとされています。

大河ドラマ「おんな城主 直虎」

応援プロジェクト

Atomic

暮らしと原子力

原子力意見交換会で寄せられた

意見を公開しました

市は、10月19日に「原子力に関する意見交換会」を開催したところ、市民43人が参加し、疑問や関心事項、要望、不安などに関する103件の貴重な意見が出されました。市では、この意見を基に関係課や事業者などに回答を求め、その回答がまとまりましたので市ホームページに公開しました。

日頃感じている原子力に関する疑問などの参考にしてください。

質問 (抜粋)	回答 (要約)
小学校低学年から原子力について説明会などを実施し、理解を深めていくことが必要。	本年度、市教育委員会では小学6年生を対象に原子力に関する勉強会を実施しており、来年度以降も継続する予定です。 また、市ホームページ内に新たに「原子力のページ」を作成します(平成28年3月を予定)。今後は子どもたちにも分かりやすい情報発信に取り組んでいきます。
広域避難が必要になった時の情報周知と避難経路や受け入れ先はどうなるのか。	10月時点での避難概要は、広域避難時には自家用車避難を基本とし、要配慮者など自家用車避難が困難な人はバスなどを利用していただきます。避難ルートは、まず避難退域時検査場所に向かい、放射性物質の付着を計測するスクリーニングを受け、検査証明書受領後に避難受け入れ先に向かっていただくこととなります。 一次避難先は浜松市、一次避難先への避難が困難な場合の二次避難先は県外への避難となります。避難受け入れ先や避難退域時検査場所の調整に時間を要しておりますが、早期に計画を策定し、皆さまにお示しできるよう努めます。